

東京外国語大学論集 55 (別刷)

中国語のパーフェクト相

望 月 圭 子

中国語のパーフェクト相

望 月 圭 子

0. 序

1. パーフェクトと文末の「了」
2. 現在・過去・未来パーフェクト
3. パーフェクトの意味的下位分類
 - 3.1.結果のパーフェクト
 - 3.2.経験のパーフェクト
 - 3.3.存続場面のパーフェクト
 - 3.4.接近過去のパーフェクト
4. 場面とパーフェクト
 - 4.1.状態のパーフェクト
 - 4.2.出来事のパーフェクト
 - 4.3.過程のパーフェクト
5. 完結性とパーフェクト
6. 見とおし相
7. 結語

0. 序

本稿の目的は、文末の「了」の用法について、アスペクトとテンスの観点から、統一的説明を試みることにある。分析の方法論として、主に Comrie 1976 の“パーフェクト”(Perfect) の概念を用いる。まず、本論に入る前に、Comrie 1976 による“場面”(situation) の定義を挙げる。

(1) 場面 (situation) :

述語によって表示される、文及びテキスト上の、時間の流れにおける単位。

場面は、その内部構造の性質によって、さらに次の三種に分類可能である。

(2) 場面の種類 :

- a. 状態 (state) : “静的”(static) 場面。主に状態述語によって表示され、原則的にはアスペクトとして把握不可能。

b. 出来事 (event) : “動的” (dynamic) 場面. 主に動作動詞によって表示され, “完結相” (Perfective Aspect) 的に把握.

c. 過程 (process) : “動的” 場面. 進行中のものとして, “不完結的” (imperfective) に把握.

テンスとは, 場面と場面間の“外的時間関係”を示し¹⁾, アスペクトとは, 一つの場面自体の“内的時間構成”を示す.

さて, パーフェクトとは, Comrie 1976, 52 によると「ある状態をそれに先行する場面と関係づけて捉えること」と定義される. 次に現在パーフェクトの具体例を挙げよう.

(3) 現在パーフェクト

a. He has gone to London.

b. 彼はロンドンへ行っている.

c. 他去倫敦了.

(3)の下線部は, 各々パーフェクト標識であり, 「発話時以前に, 彼がロンドンへ行くという出来事が完結し, その結果が発話時にも効力としてはたらいている（即ち彼はロンドンにいる）」ことを示す. このことを図示すると, (4)のようになる.

(4)



He went to London
彼はロンドンへ行った
他去了倫敦

絶対的テンス：過 去
相対的テンス：先 行
アスペクト：完結性

He is in London
彼はロンドンにいる
他在倫敦

現 在
後 続
残存性

(4)からわかるように, パーフェクトは「彼がロンドンへ行く」という場面の内的時間構造, 即ち完結性及び残存性を複合的に示す点でアスペクト的である. と同時に, 出来事時点と基準時点 ((4)では発話時点に等しい) という二つの時点を外的時間関係において把握するという点でテンス的でもあり, “相対的テンス” (Relative Tense) を示す. つまり, パーフェクトとは, テンスとアスペクトの複合概念なのである.

1. パーフェクトと文末の「了」

先行研究 (呂1980, 朱1982, 劉1983等) においては, 文末の「了」の基本的用法として,

「状態変化の表示」が挙げられてきた。しかし、Li and Thompson 1981においては、文末の「了」の基本的“伝達機能”(communicative function)は、「ある出来事の結果が、別の場面において効力をもつという関連性」を示すことにあるとし，“Currently Relevant State”という術語でこの基本用法を説明している。彼らの分析は、意味論的・語用論的観点によるもので、テンス・アスペクト的観点によるものではないので、パーフェクト相については、全く言及していない。しかし、彼らのいう“Currently Relevant State”は、一部パーフェクト相と読み替えることが可能である。彼らが挙げている例で、パーフェクト相とみなせる例をみよう。

(5) 她出去买东西了。

彼女は買物に出かけている。

(5)は、例えば「廖さんはいますか」という電話に対する答えとして用いられる。ここで、文末の「了」は、「廖さんが買物にでかける」という出来事を「電話がかかってきた」場面、即ち基準時点と関係づける機能を持っている。つまり「電話がかかってきた」場面において、「買物に出かける」という出来事の結果として、「廖さんはいない」のである。また、朱1982, 209も、文末の「了」には、叙述されている出来事と発話時を結びつけるはたらきがあると述べ、次のような例文を挙げている。

(6)a. 我在这儿住了五年了。

私はここに五年住んでいる。

b. 我在这儿住了五年。

私はここに五年住んだことがある。

(6)a 及び b は文末の「了」の有無によって、アスペクト的対比をなす。(6)a は、文末の「了」の存在によって、「私がここに五年住んだ」という場面が現在と結び付けられているのに対して、(6)b は、文末の「了」が無いため、「私がここに五年住んだ」という場面と現在との関連性がなく、「住んだことがある」という意になると朱は述べている。

さらに、呂(1961)にとりあげられて以来、さまざまな説明が試みられた以下の(7)a 対(7)b の意味の相違も、パーフェクトという概念を用いれば明確に説明できる。

(7)a. 这本书我看了三天了。

この本は私は三日間読んでいる。

b. 这本书我看了三天。

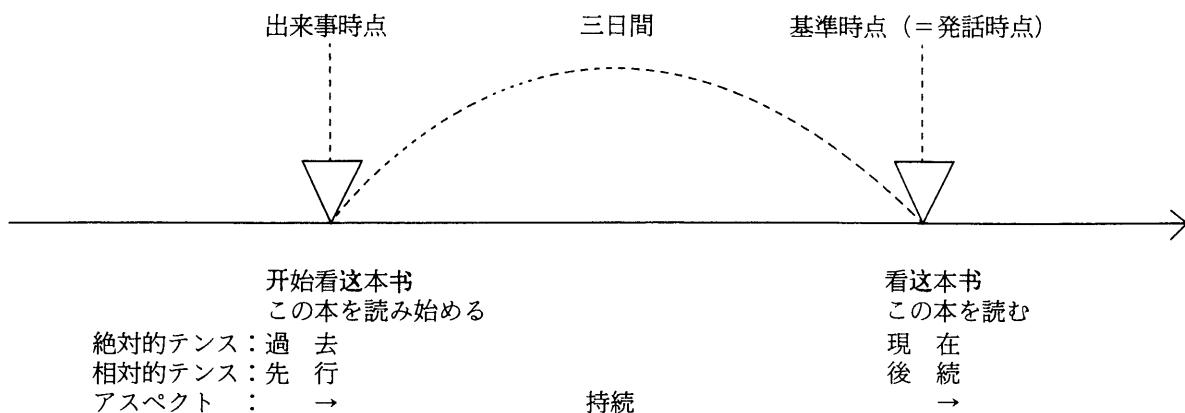
この本は私は三日間読んだ。

呂の問題提起をまとめると次のようになる。即ち、《(7)a の意は〈まだ読み終えていない〉という動作の持続を示すのに対し、(7)b の意は〈もう読んでしまった〉という動作の完結を示

す。両者の意味の相違がただ文末の「了」の有無によってのみ生じるのは研究に値する課題である》というのが呂の問題提起である。

ここで、(7)aは次のような時間関係をもつことになる。

(7)c.



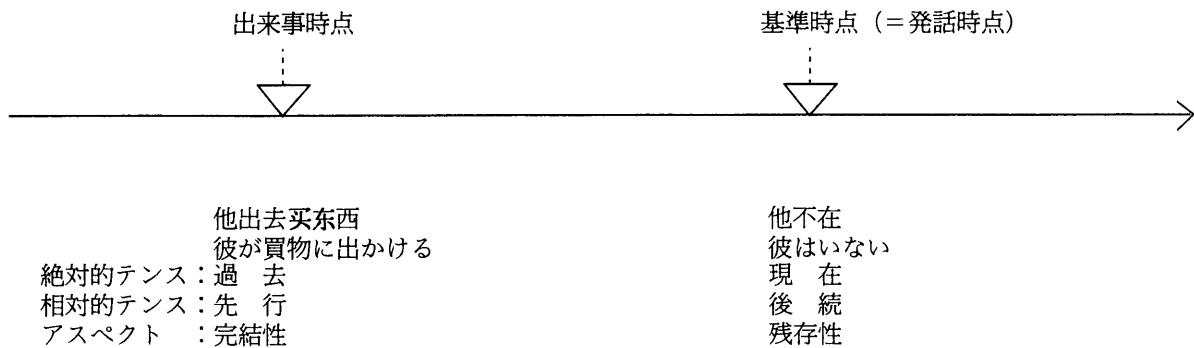
これは、3.3で後述する“存続場面のパーフェクト”(Perfect of Persistent Situation)に相当し、呂の提起した問題も、パーフェクトという概念で明確に説明可能である。

2. 現在・過去・未来パーフェクト

(5), (6)a及び(7)aで挙げた例は、いずれも現在パーフェクトの例であるが、パーフェクト相は、絶対的テンスとの関わりにおいて、現在・過去・未来パーフェクトの三種類がある。以下、この三種類のパーフェクトが、全て文末の「了」によって表されることを示す。

(8) 現在パーフェクト (Present Perfect)

- A. 张三在吗？ (張三はいますか？)
- B. 他出去买东西了. (彼は買物に出かけています)



(8)Bは、「彼が買物に出かける」という出来事が基準時点(=発話時点)より先行し、その結果が基準時点においても残存、即ち「彼は発話時点現在不在」という状態にあることを示す。この残存性は、文末の「了」によって保証される。この場合基準時点が絶対的現在であるので、

現在パーフェクトとなる。

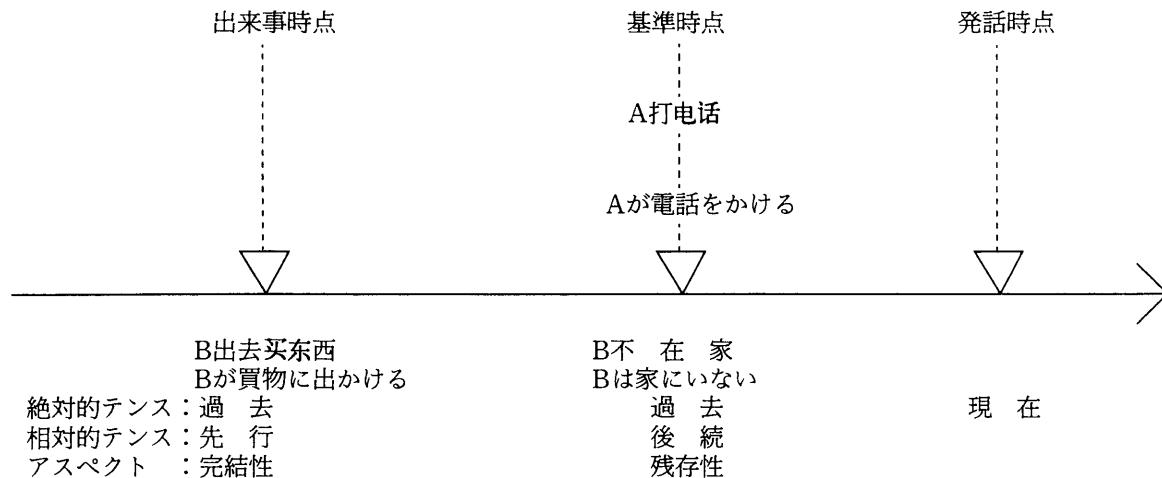
(9) 過去パーフェクト (Past Perfect)

- A. 昨天打电话给你，可是你不在家。

昨日君に電話したけど、いなかったね。

- B. 昨天我出去买东西了。

昨日は買物に出かけていたんだ。



(9)では、時間副詞「昨天」から、「AがBに電話をかけた」という基準時点が、絶対的テンス上過去に属することが示される。また、文末の「了」によって、相対的テンス上、出来事時点が基準時点に先行し、出来事の結果が基準時点において存続しているという意味解釈が保証される。この残存性は、基準時点である過去においてのみ保証され、発話時点においては保証されない。(9)Bは、基準時点が絶対的過去であるので、過去パーフェクトとなる。

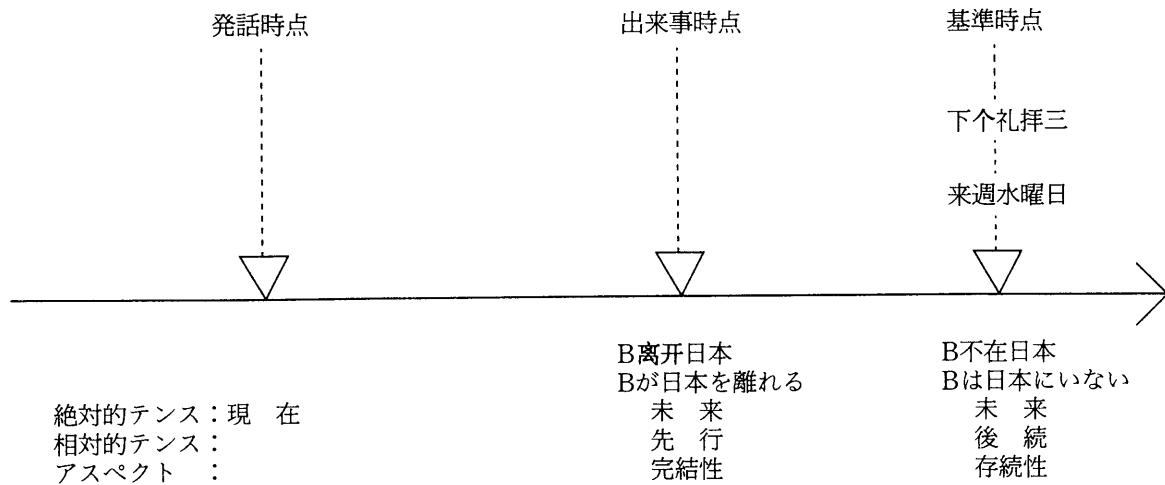
(10) 未来パーフェクト (Future Perfect)

- A. 下个礼拜三我想请你看电影。

来週水曜日映画に誘いたいんだけど。

- B. 很可惜，下个礼拜三我已经离开日本了。

残念，来週の水曜日はもう日本を離れているな。



(10) Bにおいては、「Bが日本を離れる」という出来事時点及び「来週の水曜日」という基準時点は絶対的テ ns上、未来に属する。また、文末の「了」によって、出来事時点が基準時点に先行し、また基準時点において、出来事の結果が存続していることが示される。この場合、基準時点が絶対的未来であるので未来パーフェクトとなる。

以上、文末の「了」が現在・過去・未来という基準時点の絶対的テ nsの相異には関わりなく、常にパーフェクト相を表すことを示した。つまり、いずれの場合も、出来事が基準時点よりも先行し、基準時点において出来事の結果が存続していることが文末の「了」によって示されるのである。

3. パーフェクトの意味的下位分類

Comrie 1976, 56-61 によると、意味解釈の相異によって、パーフェクトは次の四タイプに下位分類できる。以下、この下位分類が文末の「了」とどのように関わるかを考えたい。以下、便宜上、全て基準時点を発話時現在とし、現在パーフェクトについてのみ説明する。過去及び未来パーフェクトについては、2. でみたように、基準時点の絶対的テ nsがそれぞれ違っているだけで、出来事時点が基準時点より先行すること、出来事及び基準時点間の場面の関連性という点に関しては、全く同じ原理である。

3.1. 結果のパーフェクト

“結果のパーフェクト” (Perfect of Result) は、現在の状態を過去のある場面の結果として捉える。例えば、先に挙げた(3)がこの結果のパーフェクトにあたる。

- (3) a. He has gone to London.
- b. 彼はロンドンへ行っている。
- c. 他去倫敦了。

3.2. 経験のパーフェクト

“経験のパーフェクト” (Experiential Perfect) は, Comrie 1976, 58 によれば, 現在に至るまでの過去のある時点に, 少なくとも一つの場面があったことを表す。経験のパーフェクトを例示すると, (11) のようになる。

- (11) a. He has been to London.
- b. 彼は以前ロンドンへ行つている。
- c. 他去过倫敦了。

(3) 及び(11) はいずれも現在パーフェクトの例であるが, 英語においては, (3)a 及び(11)a が示すように “go” は, 結果のパーフェクト (have gone) と経験のパーフェクト (have been) とで, それぞれ異なった形式をもつ。日本語では, 結果及び経験のパーフェクトいずれも, 「ている」で表示可能である。中国語の場合, 経験相は, (11)c のようにアスペクト接辞「-过」を用いるが, 経験相の「-过」のパーフェクト性については, 疑問がある。なぜなら, まず「-过」は(12) が示すように, 未来パーフェクトに用いることができないからである。

- (12) 十年后, 我应该生 {*过/了₁} 孩子了₂.
- 私も十年したら, 子供を生んでいるに違いない。

(12) が示すことは, 経験相の「-过」は未来時制に用いることができないが, “完結相” (Perfective Aspect) の接辞的「-了₁」は, 未来における完結相を, 文末の「了₂」は, 未来パーフェクトを表すことが可能であるということである³⁾.

次に, (11)c において, パーフェクト相を表すのは「-过」か文末の「了」かについて考えたい。まず, 文末の「了」の有無によって, どのような意味的差異が生じるか見てみよう。

- (13) a. 我去过倫敦。
- 私はロンドンへ行ったことがある。
- b. 我去过倫敦了。
- 私は (以前) ロンドンへ行つている。

(13)a は, 単に「ロンドンへ行った」という経験があることを述べているにすぎない。しかし, (13)b のように, 文末の「了」があると, 「ロンドンへ行った」という経験と, 発話時現在の状態との間に関連性が生じる。(13)b は, 以下に示すように, 発話時における発話者の心理状態を表す文が後続する文脈におかれることが多い。

- (14) a. 倫敦, 我去过了, 一点都不好玩⁴⁾.
- ロンドンは, 前に行つているけど, 全然おもしろくないよ。
- b. 倫敦, 我去过了, 这次去别的地方吧。
- ロンドンは, 前に行つているから, 今度は別の所へ行こうよ。

c. 倫敦，我去过了，可以把导游书借给你。

ロンドンは、前に行っているから、ガイドブックを貸してあげる。

(14)において各後続文は、いずれも発話時点における発話者の心理状態を示している。ここでは、文末の「了」が、過去の経験が発話時点における状態に影響を及ぼしていることを暗示する機能をもつと考えられる。つまり、文末の「了」が経験のパーフェクトを示すと考えても適当であろう。

Li and Thompson 1981 も、関連する例を挙げている。以下、Li and Thompson 1981 の黄宣範による中国語訳版1983, 240-241から引用する。

(15) a. 我吃过木瓜。(我有过此经验)

私はパパイヤを食べたことがある。(私はこのような経験がある)

b. 我吃过木瓜了。(现在你就別再叫我吃木瓜了)

私は以前にパパイヤを食べています。(だからこれ以上パパイヤをすすめないで)

(16) a. 我们去过狄斯耐乐园。(我们有過这种经验)

私たちはディズニーランドへ行ったことがある。(私たちはこのような経験がある)

b. 我们去过狄斯耐乐园了。(所以我不想今天下午再和你们去了。)

私たちはディズニーランドへもう行っている(から、今日の午後一緒に行きたくない)。

(15)及び(16)における a 文及び b 文間の対照は、次のように説明できる。つまり、(15) b 及び(16) b における文末の「了」は、過去の経験が効力として存続していて、その効力が次の場面に影響を及ぼすことを示している。即ち、経験の場面は、その効力が発話時の状態(例えばもうこれ以上同じ経験は不要という心理状態)にもはたらいているという点で、発話時の場面と関連性を持つのである。

以上の例から示唆されることは、経験相を表す標識「-过」はそれ自体ではパーフェクト性をもたず、文末の「了」と共起して始めてパーフェクト性が生じ、経験のパーフェクトを表すことになる。すると、Comrie 1976, 59 で、経験相の「-过」を経験のパーフェクト標識と単純にみなしているのは、不十分な叙述であろう。確かに、経験相「-过」は、過去における基準時点以前の経験を示すという点で基準時点と関連性をもち、ある程度パーフェクト性をもつかもしれない。しかし、文末の「了」が経験相の文につくことにより、基準時点における状態(例えば発話者の心理状態)がより具体化し、経験と基準時点とがより強く関連づけされることになるのである。よって、「～过～了。」が経験のパーフェクトを表すとした方がより正確である。

最後に、結果のパーフェクトと経験のパーフェクトとの相異について触れておきたい。まず、張1995, 16は次のような例文を挙げている。

(17) a. 她生了1一个孩子了2.

彼女は子供を一人生んだ.

b. 她生过孩子了.

彼女は以前子供を生んでいる.

本稿の枠組みにおいては、(17)a は、「-了₁」により完結相が示され、「了₂」によってパーエクト性が示される結果のパーエクトを示す文である。一方、(17)b は、「-過」により経験相が示され、文末の「了」によってパーエクト性が示される経験のパーエクトである。張 1995 は、両文は、次のような意味的相異があると述べている。即ち、(17)a においては、発話時点において、生まれた子供は存在しているという意味が保証される。一方、(17)b は、「子供を生んだ」という経験が過去においてある」ことを強調する文で、生まれた子供が発話時点において存在するか否かは問題とならない、と述べている。この対比から、少なくとも中国語において、結果のパーエクト形式「～了₁～了₂」は、基準時点における出来事の結果の明確な効力を意味する一方、経験のパーエクト形式「～過～了₂」は、基準時点において結果の残存を必ずしも意味しないといえる。

3.3. 存続場面のパーエクト

“存続場面のパーエクト” (Perfect of Persistent Situation) とは、Comrie 1976 によれば、ある出来事が過去に始まり現在まで持続していることを指す。例えば、

(18) a. He has lived here for ten years.

b. 彼はここに十年住んでいる.

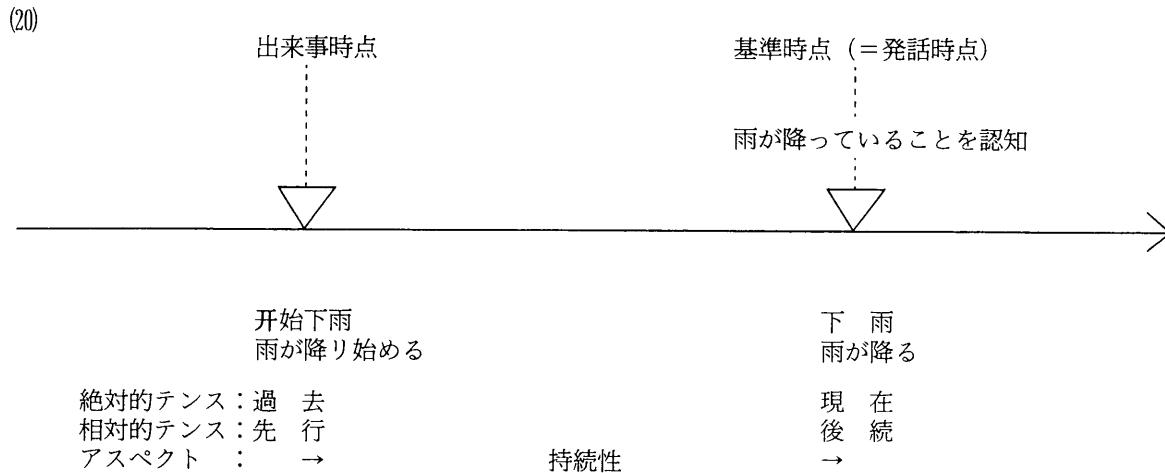
c. 他在这里住了十年了.

文末の「了」は、(18)c において、存続場面のパーエクトを示す。

また、“始動相” (Inchoative/Ingressive) も、存続場面のパーエクトとみなすことができる。例えば、

(19) 下雨了. (あ、雨が降っている)

(19) は、過去において「雨が降る」という出来事が始まり、発話者がその出来事に気付いた発話時点まで、「雨が降る」という出来事が持続していることを示す。このことを図示すると、(20) のようになる。



(20)は、(19)の時間解釈が相対的テンス上の先行性とアスペクト上の持続性との両方を表していること、即ち存続場面のパーフェクトであることを示している。

さて、(19)は動作述語の例だが、次に状態述語の始動相の例を挙げる。

(21) a. 他高了.

b. 彼は背が高くなつて (きて) いる.

c. He has become tall.

(21)においても、「背が高くなる」という変化が始まった時点から、発話時点である基準時点まで、「背が高くなる」という変化が持続しているという解釈がなされる。(19)及び(21)では共に、文末の「了」が始動相、即ちパーフェクトを示しているのである。

Comrie 1976, 19-20 では、完結相が状態述語に現われると、始動相を意味するという現象が多くの言語（例えば古代ギリシャ語、スペイン語、ロシア語、中国語）にみられると述べ、完結相がなぜ不完結的である始動相と結びつくのかという疑問を呈している。中国語においても、完結相を表す接辞的「-了」と同じ形態の「了」が文末に使われると始動相を表すことがある、という点で完結相と始動相との関わりがあるのだが、始動相がパーフェクトの一種とみなせるのならば、5.で後述するように、この問題はむしろ完結相とパーフェクトとの関連性として捉えるべきであろう⁵⁾。

3.4. 接近過去のパーフェクト

“接近過去のパーフェクト” (Perfect of Recent Past) とは、Comrie 1976 によれば、現在に近い過去において、ある場面がおこる場合をさす。英語の例を挙げると、(22)となる。

(22) a. He has just arrived.

彼はたつた今着いた。

b. I have recently learned it.

私は最近そのことを知った。

しかし、(22)a 及び b を中国語に訳すと、以下に示すように、文末の「了」を用いることができない。

(23) a. 他刚刚才抵达东京 (*了).

彼はさっき東京に着いた。

b. 我最近才知道这件事 (*了).

私は最近このことを知った。

(23)a 及び b からわかるることは、中国語においては、英語の場合と異なり、パーフェクトを示す文末の「了」が、「最近」(=recently) や「刚刚」(=just) のような時間副詞と共に起せず、接近過去を示さないことである。

中国語において、接近過去を表す標識としては、「来着」が考えられる。呂1980, 312では、「来着」について、次のように述べられている。

時間副詞がつかずに「来着」が用いられる場合、一般に最近おこった出来事を示す。

我去天津来着。 (数日前のこと) 指す)

私は天津に行ってきましたばかりだ。

本稿では、「来着」が接近過去のパーフェクトである可能性を指摘するにとどめておく。

以上をまとめると、文末の「了」は、接近過去のパーフェクトを除く、結果・経験・存続場面の各パーフェクトを表すことができる。

4. 場面とパーフェクト

パーフェクトとは、ある特定の基準時点の状態をそれに先行する別の場面に結びつけることであるが、この場面は、既に(2)で紹介したように、Comrie 1976によれば、状態・出来事・過程の三種類に分類される。以下、この三種類の場面のパーフェクトがいずれも文末の「了」で表されることを示す。

4.1 状態のパーフェクト

まず、次の例文(24)(25)をみよう。

(24)a. 花很红。 (花が赤い)

b. 花红了。 (花が赤くなつた／花が赤くなり始めている)

(25)a. 他有钱。 (彼はお金持ちだ)

b. 他有钱了。 (彼はお金持ちになつた／彼はお金持ちになり始めている)

(24)a 及び(25)a はいずれも述語が示す状態性により、恒常的・超時的場面を示す。一方、(24)b

及び(25)bは、変化の完結相（～になった）と変化の始動相（～になり始めている）という二種類の解釈が可能である。変化の完結相の解釈は、結果のパーフェクト、即ち過去に完結した変化の結果である状態が現在においても効力として残存しているという解釈となる。一方、変化の始動相の解釈は、存続場面のパーフェクト、即ち過去に開始した変化が現在においても持続しているという解釈となる。この場合のパーフェクトは完結性をもたない。いずれにしても、パーフェクトの解釈を与えるのは文末の「了」である。

4.2. 出来事のパーフェクト

前出のパーフェクトの例のうち、出来事のパーフェクトの例をいくつか再録しよう。

(26)a. 他去倫敦了.

彼はロンドンへ行っている。

b. 她出去买东西了.

彼女は買物に出かけている。

c. 我在这儿住了五年了.

私はここに五年住んでいる。

d. 下个礼拜三我已经离开日本了.

来週の水曜日には私はもう日本を離れている。

e. 我去过倫敦了.

私は以前ロンドンへ行っている。

f. 十年后，我应该生了孩子了.

十年後、私も子供を生んでいるにちがいない。

(26)a～fの各文では、いずれも出来事がひとまとまりとして完結的に捉えられ、その結果が、基準時点においても効力をもっている。こうしたパーフェクトの解釈を与えるのは、いずれも文末の「了」である。出来事のパーフェクトの場合、出来事は常に完結相として捉えられる。

4.3. 過程のパーフェクト

過程の場面とは、進行中の出来事として非完結的に捉えられるが、この場面に文末の「了」がつくと、始動相の解釈が与えられる。

(27)a. 他们已经在上课了.

彼らはすでに授業を始めている。

b. 他在吃饭了.

彼はご飯を食べ始めている。

(27)a. bはいずれも、進行を表すアスペクト標識「在」により、場面は動的過程として捉えられる。こうした進行中の場面に「了」がつくと、先行するある時点で動作が開始し、その動

作が発話時点においても持続しているという存続場面のパーフェクトとなる。

5. 完結性とパーフェクト

“完結性” (Perfective) と “パーフェクト性” (Perfect) は、関連性はもつにせよ、全く別の概念である。中国語のパーフェクトは、場面の完結性の有無によって、(28)及び(29)のように二分される。

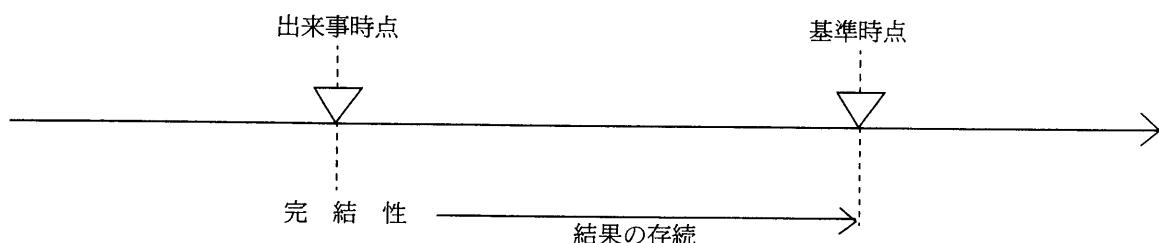
(28) [+Perfect, +Perfective]

a. 出来事のパーフェクト

他去倫敦了. (彼はロンドンへ行っている)

b. 完結した変化のパーフェクト

花紅了. (花が赤くなつた)



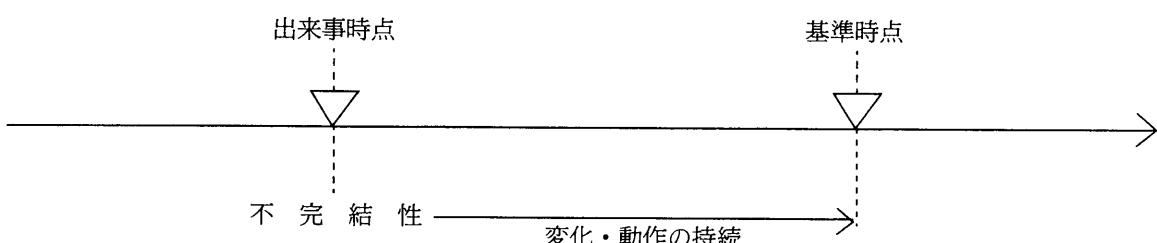
(29) [+Perfect, -Perfective]

a. 進行中の変化

花紅了. (花が赤くなり始めている)

b. 進行中の動作

他们已经在上课了. (彼らはすでに授業を始めている)

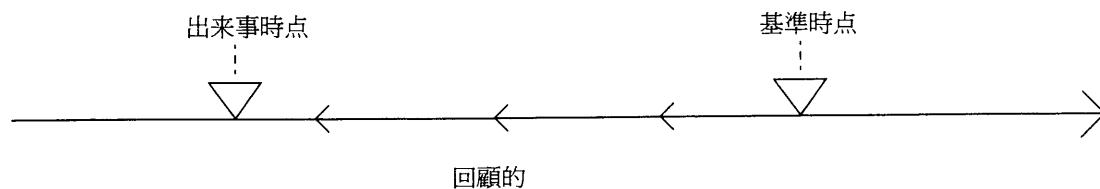


(28)は完結的, (29)は不完結的パーフェクトで, (29)a . b は共に始動相の解釈をとる。前述のように, Comrie 1976, 19-20 は完結相が状態述語に用いられると始動相となる現象が多くの言語にみられるとしているが, 中国語の場合は, [+Perfect] である文末の「了」が [+Perfective] の場面を基準時点と結びつける場合には完結相の解釈が, [-Perfective] の場面を基準時点と結びつける場合には始動相の解釈が与えられる。

6. 見とおし相

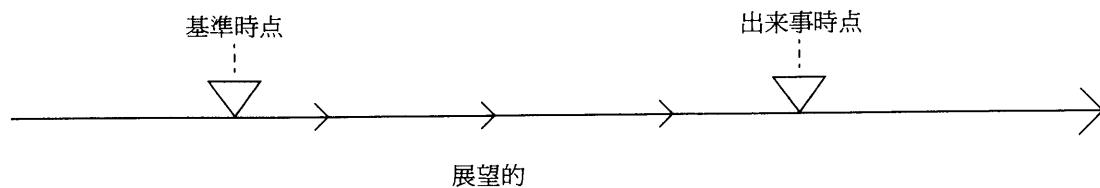
パーフェクト相は、基準時点の場面を先行する場面へ関連づけるという点で、(30)に示すように“回顧的”(retrospective)である。

(30) パーフェクト相

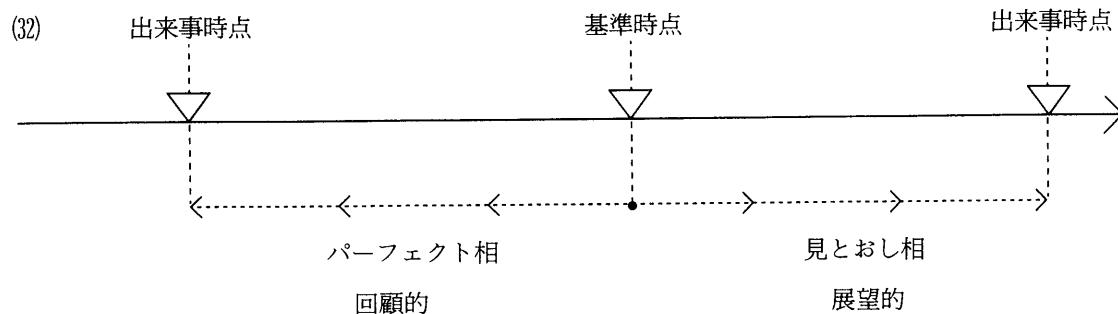


一方、“見通し相”(Prospective Aspect)とは、基準時点の場面を後続する場面へ関連づけるという点で、(31)に示すように“展望的”(prospective)である。

(31) 見とおし相



(30)と(31)は、鏡像的時間関係をなし、(32)のようにまとめることができる。



パーフェクト相と見とおし相の相異は基準時点から出来事時点を眺める時間軸の方向が異なるだけで、基準時点から出来事時点の場面への関連づけという点で、共通性をもつ。ここで重要なのが、見とおし相にも文末の「了」が現われるという現象である。中国語の見とおし相は、「快(要)～了」「要～了」等の形式によって表されるが、従属節の場合を除いて、いずれも文末の「了」が現われるのである。

見とおし相の具体例を、単純未来との対比の上で見てみよう。(33)はComrie 1976, 64からの、(34)は、張1995, 35からの引用の例文である。

(33) a. Bill is going to throw himself off the cliff.

b. Bill will throw himself off the cliff.

(34) a. 彼尔要从绝壁跳下去了。

ビルは絶壁から身を投げようとしている。

- b. 彼尔将从绝壁跳下去。

ビルは絶壁から身を投げる。

(33)(34)において、a文は見とおし相、b文は単純未来を表すが、両者は、英中日語ともに、異なる形式で示される。Comrie 1976, 64-65は、見とおし相とは、眼前の状態から当然おこるべき次の場面を叙述するものであり、この後続する次の場面が眼前的場面に関連づけられている相であると述べている。つまり、単純未来と見とおし相との相異は、前者が単なる予言であるのに対して、後者は視点があくまでも眼前的状態、即ち後続場面で当然成長するはずの種子そのものにあるという相異にある。よって、単純未来を用いた予言が実現しなければ、発話者は間違っていたということになるが、見とおし相を用いた場合、たとえその種子が成長しなくても発話者は間違っていたとはいえない。なぜなら、発話者はあくまでも眼前的状態における種子に視点をおいて述べたにすぎないからである。

以上のことから、見とおし相も、パーフェクト相と同様、出来事時点の場面が基準時点の場面と関連づけられているという共通性をもつことがわかる。文末の「了」がパーフェクト相にも見とおし相にも用いられるのはこうした共通性によるものである。

最後に、現在・過去・未来の三種の見とおし相を、パーフェクト相と対比する形で挙げておく。

(35)現在

- a. 张三快要死了。

張三は死にかけている。

- b. 张三死了。

張三は死んでいる。

(36)過去

- a. 李四进来的時候，张三快要死了。

李四が入ってきた時、張三は死にかけていた。

- b. 李四进来的時候，张三死了。

李四が入ってきた時、張三は死んでいた。

(37)未来

- a. 明天李四来的時候，张三可能就要死了。

明日李四が来た時、張三は死にかけているかもしれない。

- b. 明天李四来的時候，张三可能已经死了。

明日李四が来た時、張三は死んでいるかもしれない。

1. 結語

以上、文末の「了」について、テンス・アスペクトの観点から検証し、文末の「了」はパーフェクト相と見とおし相を表すことを述べた。パーフェクト相と見とおし相は、共に基準時点から出来事時点への関連性をもつという共通点がある。つまり、文末の「了」は、基準時点を出来事時点へ関連づけるという時間機能をもつという統一的説明が得られるのである。

(1997.5.8)

〈注〉

- 1) テンスは基準時点が何かによって“絶対的テンス”(Absolute Tense) 及び“相対的テンス”(Relative Tense) に二分される。前者は、発話時を基準点とし、記述される場面を発話時現在に關係づける。一方、後者は、記述される場面を別の場面の時点(基準時点, Reference Time)に關係づけ、場面間の「同時性－先行性－後続性」という相対的時間關係を示す。中国語においては形態上の絶対的テンスがないという主張が一般的だが、Li1990, 張1995のように未来(「会」「将」「要」等の未来標識)・非未来の形態的対立があるとの見方もある。中国語の相対的テンスについては動詞の接辞的「-了」及び文末の「了」がいずれも先行性を示すテンスマーカーとなる。
- 2) “基準時点”(Reference Time)とは、相対的テンスにおいて基準点となる時点を指す。工藤1995では“設定時点”という日本語訳が用いられているが、本稿では張1995の中国語訳“基準時点”に従う。
- 3) しかし、この場合の「V了₁～了₂」形式は、結果の未来パーフェクトであって、経験の未来パーフェクトではない。「了₁」を完結相を表す「-过」に変えても、経験の未来パーフェクトは表せない。
- 4) (14)a. b. c. では、前のコンテクストで、「ロンドン」が主題として設定済みという談話の制約上、「倫敦」は主題化されるのが自然だが、この主題化は文末の「了」の解釈には影響を及ぼさない。
- 5) 完結相とパーフェクト相の深い関連性については、Comrie 1976, 61-64 参照。

文献目録

- Comrie, Bernard 1976. *Aspect*. Cambridge: Cambridge University Press.
 工藤真由美1995.『アスペクト・テンス体系とテクスト』。東京：ひつじ書房。
 Li, A.Y.-H 1990. *Order and Constituency in Mandarin Chinese*. Kluwer Academic Publishers, Netherlands.
 Li, Charles N. & Sandra A. Thompson 1981. *Mandarin Chinese*. Berkeley & Los Angeles: University of California Press. (中国語版：黃宣範1983.『漢語語法』。台北：文鶴出版有限公司)
 刘月华他著1983.『实用现代汉语语法』。北京：外语教学与研究出版社。
 呂叔湘1961.「汉语研究工作者的当前任务」『中国语文』第103期, 1-6. 北京：中国语文杂志社。
 呂叔湘主編1980.『现代汉语八百词』。北京：商务印书馆。
 张济卿1995.「论现代汉语的时制与动相结构」1995年6月上海师范大学で開催された汉语语言学現代化問題学术研究会でのハンドアウト。
 朱德熙1982.『语法讲义』。北京：商务印书馆。

附記：本研究は、国立国語研究所日本語教育センター「日本語と中国語の対照研究」における研究成果の一部である。

本文尝试从 Comrie 1976 所提动貌和时制之概念和定义检验句尾“了”所具之时间功能。根据 Comrie 之定义，本文将“了”视为 'Perfect' 相之标志，并从三个不同的角度将 Perfect 相予以细分类，并验证“了”在此细分类中均符合 Perfect 相之要求。该分类如下：

- ① 以与‘绝对时制’(Absolute Tense)之关系为基准，Perfect 相可分为过去、现在和未来 Perfect。
- ② 以所叙事件和状态之动貌性质为基准，Perfect 相可分为结果、经验、存续和近过去 Perfect。
- ③ 以所叙事件所构成之‘场面’(situation)的性质而言，Perfect 相可分为状态、事件和过程之 Perfect。

另外，句尾“了”亦表示‘展望相’(Prospective Aspect)。Perfect 相和展望相之共同点在于两者均是从某个‘基准时点’(Reference Time)来描述另外的场面。此可视为句尾“了”的时间功能。